

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	1 年	学科	全学科	必選	必履修
教科	農業	科目	農業と情報	単位	2 単位
使用教材	農業と情報(実教出版)				
学習目標	①農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
単元と内容					
1 学期	第1章 私たちの生活と農業の情報化 第2章 社会を支えるコンピューター 第3章 コミュニケーションと情報デザイン ○文書の作成と表現(文書作成ソフトの活用) (期末テスト)	・情報化社会における、メディアリテラシーや情報モラルなどを理解する。			
		・農業における、情報の役割やデータ収集の大切さについて理解する。			
		・コンピューターのしくみや情報セキュリティ管理などを理解する。			
		・情報を活用するソフトウェアについて理解する。			
		・文書作成ソフトの基本的な利用方法を理解する。			
2 学期	○文書の作成と表現(文書作成ソフトの活用) ○データの集計と視覚化(表計算ソフトの活用) (中間テスト) データベースの利用と画像処理・動画編集 ○プレゼンテーションソフトの活用 (期末テスト)	・文書作成ソフトを活用するための十分な技能を身につける。			
		・表計算ソフトを活用するための十分な技能を身につける。			
		○データ処理やグラフ作成の技術をプロジェクト学習で活用できるようにする ・データベースや画像等をプレゼンテーションに取り入れ、プロジェクト学習の発表をできるようにする。			
3 学期	○情報発信 第4章 スマート農業への展望 ○プログラムの設計 第5章 農業情報の分析と活用 (学年末テスト)	・基本的なHTMLのタグを理解する。			
		・地域のスマート農業の実状について知り、理解する。			
		・プログラム設計について理解する			
		・農業経営における情報処理システムの利用場面と効果を考える。(経営科)			
		・統計や市場などの情報外部情報の重要性と役割を理解する。(活用科)			
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。			
II	思考・判断・表現	農業情報の活用について、職業人に求められる倫理観を持って思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。			
III	主体的に学習に取り組む態度	農業情報を活用した事例に関心を持ちながら、農業振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	定期テスト 授業の取り組み (授業のデータ提出、態度)		定期テスト 授業の取り組み (データ処理のプロセス)		予定
					56 時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			